

晴天に恵まれ「森林環境教育」活動開始

平成21年4月10日(金)4月晴れの中、酒田市の西荒瀬保育園と協同で行っている「みどりの保育園」推進事業の第一弾となるクロマツ探検隊 を開催しました。

平成21年度の活動についても、山形県みどり環境公募事業の認定を受けて活動助成金の交付が決定していますが、20年度よりワンランク上の活動プログラムづくりを目標に取り組んで行くことにしています。

今年度、活動に参加するのは、新たに年長組となった園児25名です。少子化の影響もあり20年度より13名の減少となっていますが、新しく始まる森林環境教育に小さな胸をときめかせながら元気に参加してくれました。

森林環境教育の開催にあたり、1年間に渡り森林環境教育を指導する当センター職員を紹介し、クロマツ探検隊 での注意事項の説明を行ってから歩いて近くのクロマツ林に向かいました。

当日は気温が高く歩くと汗ばむ陽気でしたが、クロマツ林に入ると気温も下がり、森林が気温を下げていると言う話に驚いていました。

昔、砂山だったところに苦労して植えて育てたクロマツが、地域の人達の生活や農作物を風や飛砂の害から守ってくれている話をすると、今までクロマツに対し抱いていた観念も少し変化した様で、「クロマツさん有り難う」とお礼を言う園児も現れました。

クロマツ林を探索しながら歩いて行くと、サギのコロニーがありました。さっそく準備した望遠鏡で探鳥会の開始です。時々飛び立つアオサギに歓声を上げながら、センター職員の説明に耳を傾けていました。豊かな森林が動植物の生態系を維持している話に、園児達は興味を持ったのか質問も多く、説明するセンター職員も大変な様子でした。

探鳥会の後は、クロマツ林の中で休憩を取り、色々な種探しに挑戦しました。バネの様に弾けて飛ぶフジの種やクルクルと回りながら落下するカエデの種の飛び方を見た園児達は、初めての体験で驚いた様子ですが、直ぐに自分たちも飛ばしたいと積極的に体験活動へ参加してきました。

今回は新年長組との初めての森林環境教育でしたが、園児達も自然の中で学ぶことの楽しさを実感した様子で、今後の活動を通じて更に園児達の心の成長を高めたいと考えています。

なお、当センターでは平成21年度「みどりの保育園」の推進にあたり、開催日等を記した「手作りカレンダー」を制作して関係団体に配布して事業への支援を依頼することとしています。



そろぐみだより

(5才児) 平成21年4月10日 西荒瀬保育園 NO.2

クロマツたんけんたい もりのふしきをはっけんしよう

天気は☀️ 水筒もって、朝から、大はりきりのみんぼでした。
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターのおじさん達に
挨拶をして、自己紹介してもらいました。



元気に「よろしくおねがいします」をして近くの黒松林へ
出発しました。背の高い黒松を見上げて、「松」についてお話をききました。
松林の良い所 ①太陽の暑い光をさげさせてくれる。②本葉がぬる、涼しいね。
②石りが飛ぶのを止めてくれる ③水が流れるのを防いでくれる。
松は昔々の人が、1本1本植えて、今、こんぽに大きくなった事。大切な
松林、そして、いろんな楽しい発見がいっぱいありました。

ゼーんぶ、
たのしかったよ!!

おみやげの
お話を
きいてみて
下さいわ

かわい「さる」の顔がいっぱいの木「おにくるみ」
秋になると、大きな実をつけて、中のくるみを食べます。
③ たべたいねー。ばやく、秋になるといいね!!

「あまどろ」
たべられるので、
洗って、お子連れ
料理してもらって
食べました。
お味は?
きいてみて
下さいわ

「たらの芽」
キクキクのとげがいっぱい
ある木!!
② なぜ キクキクがいっぱい
ついているの?
A 小動物から食べられない
ようにするため。(人間からもおみやげです!!)

水筒の準備、
ありがとうございました。

「たぶ」の葉
おじさんが、口唇に合
せて、ピョ!!と音をだして
くれました。

「たぶの木」は、酒田市のシンボルの木です。
酒田大火の時は、たぶの木が周りにある家は
燃えなかったという位に、防火樹の
たぶの木だそうです。
森の中には、毒の木(うるしもあり)
おじさんのお話は、全部、なるほど!!と
納得する事、ばかりでした。

「あおさぎ」
-松の高い上に巣を作っていました。
大きな望遠鏡で、飛んでくるサギを見る事まで
大感激で、拍手でした。おじさんから、卵を見せて
もらって、「この中に、あかちゃんいたんだねえ」と、
コメントもあり、うす水色でした。

「たねこぼた」
おじさんの準備してくれた、たねこぼたで、たねこぼた遊びました。